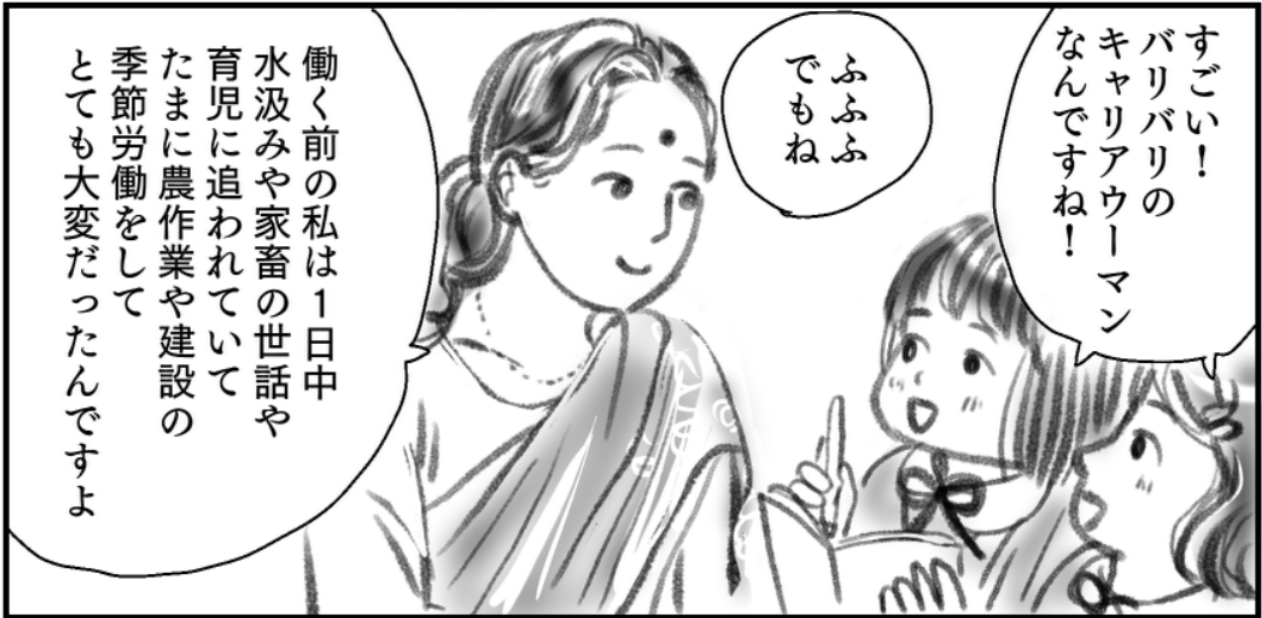




こんにちは
私はネパールに
暮らすペマです
モバイルメイソンという
建設現場を巡回しながら
家を建てる
技術指導をしています

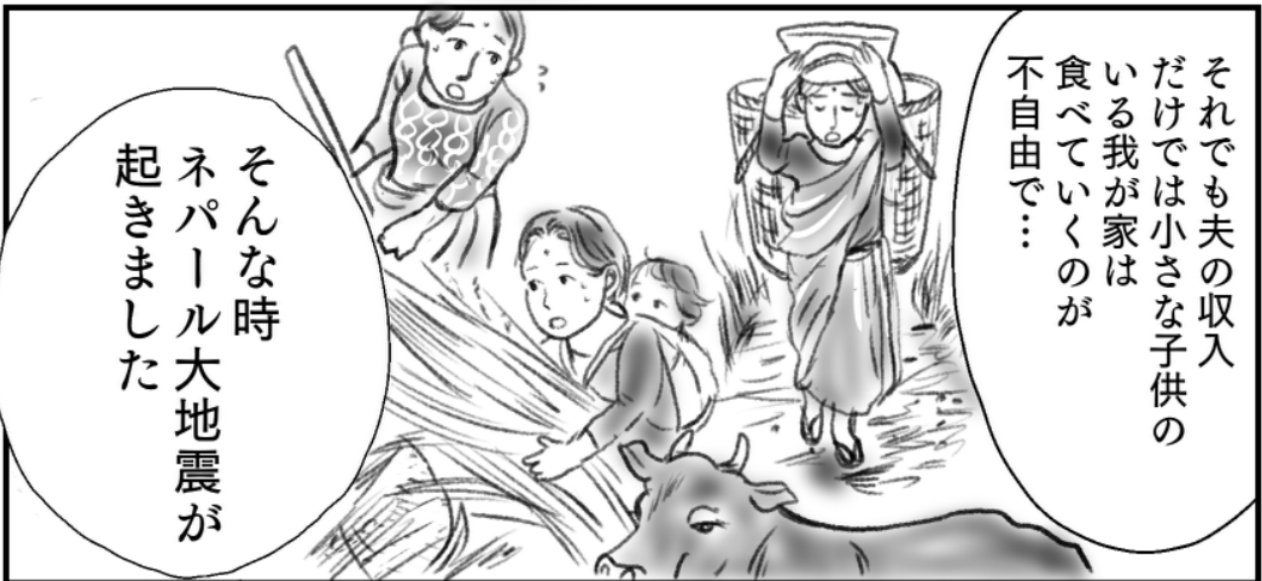
女性グループの
委員長を務めたり
責任ある立場で
働いています



すごい！
バリバリの
キャリアウーマン
なんですね！

ふふふ
でもね

働く前の私は1日中
水汲みや家畜の世話や
育児に追われていて
たまたまに農作業や建設の
季節労働をして
とても大変だったんですよ



それでも夫の収入
だけでは小さな子供の
いる我が家は
食べていくのが
不自由で…

そんな時
ネパール大地震が
起きました

2015年4月
9千人以上が亡くなり
2万人以上が怪我をし
88万戸の家が
崩壊や損壊し
被害を受けたの



途方に暮れていたなら
日本のJICAが
復興策の一環として
モバイルメイソンの
育成トレーニングを
するって話を
聞いたんです

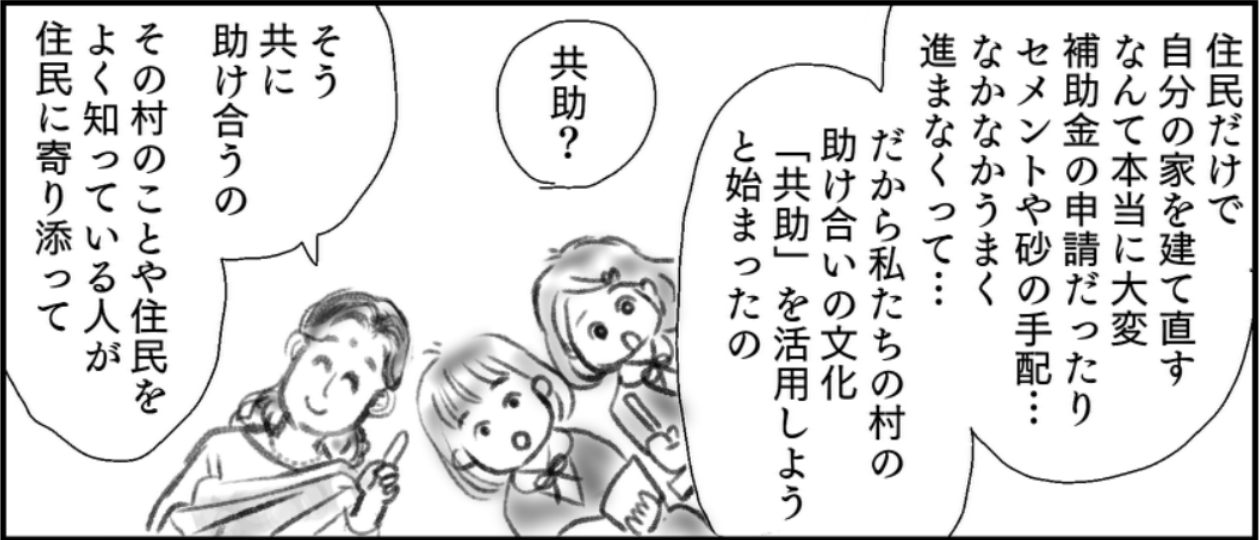
住民だけで
自分の家を建て直す
なんて本当に大変
補助金の申請だったり
セメントや砂の手配：
なかなかうまく
進まなくて：

だから私たちの村の
助け合いの文化
「共助」を活用しよう
と始まったの

共助？

そう
共に
助け合うの

その村のことや住民を
よく知っている人が
住民に寄り添って

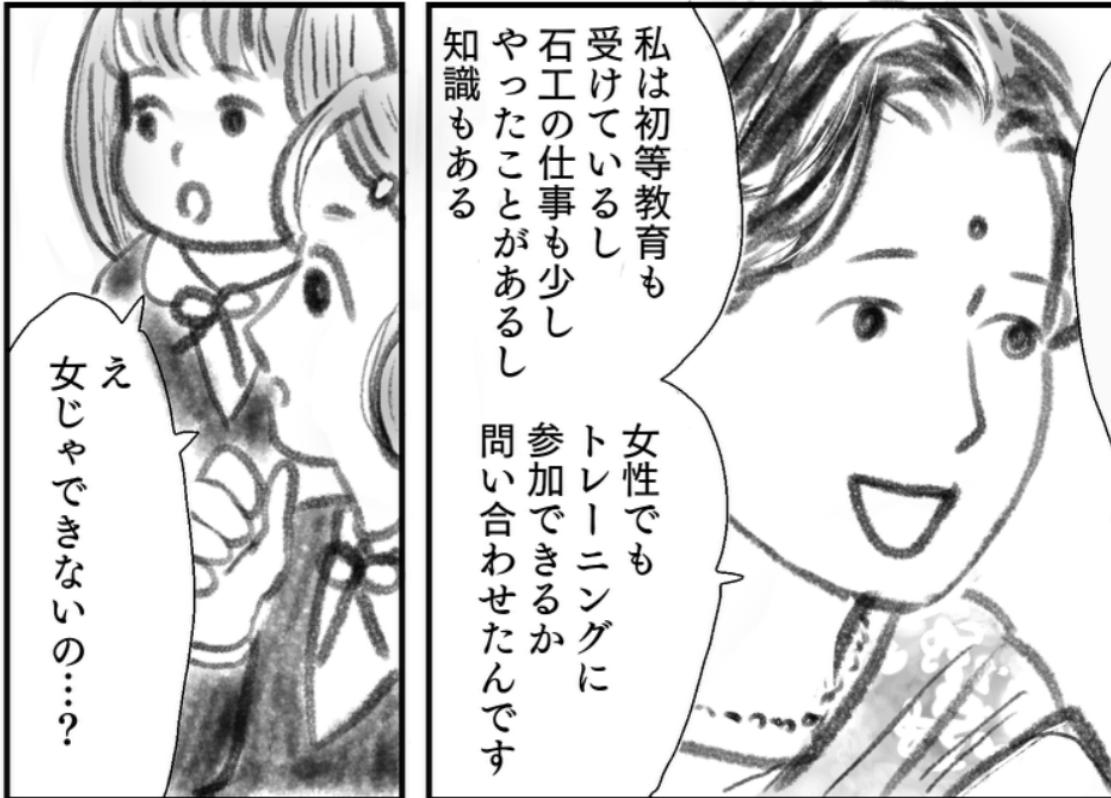


相談しながら
家を建て直す問題を
一緒に解決して
再建を支えようという
プログラムよ

私は初等教育も
受けているし
石工の仕事も少し
やったことがあるし
知識もある

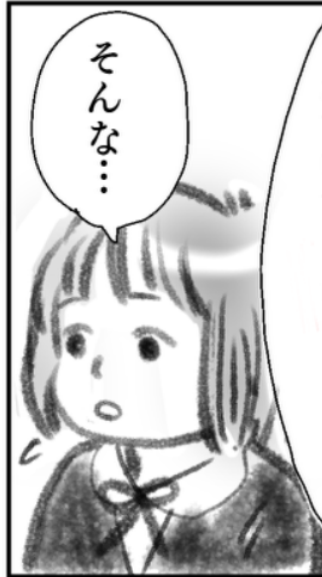
女性でも
トレーニングに
参加できるか
問い合せたんです

え
女じゃできないの…？



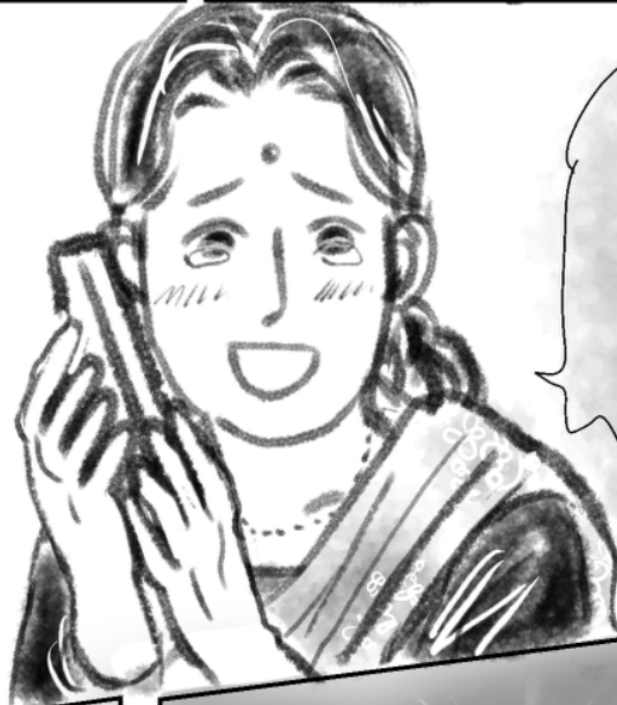


でもね、
しばらくして
区の女性職員から
電話があったの



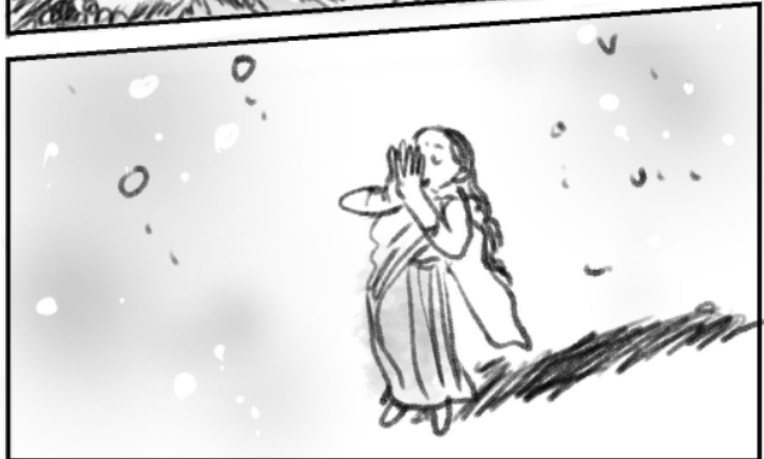
そんな…

ネパールではね
男性が外で働いてお金を稼ぎ
女性は家で家事をするのが
一般的なの
それに女性と男性が
一緒に建設業で働くなんて
社会的なルールで制限を
されていて…



参加
できるんですか…!!
嬉しい…!!
ありがとうございます
ございます…!!

私はラッキーでした
私の住む地域は
電波が良くないのに
この時電話を受けることが
できたんです



私は熱心に
トレーニングを受講し
各地域のモバイルメイソン
5名のうちの1人に
選ばれました



すごい！

今までの
建て方とは違って
また地震がきても
崩れない家を速く
建てることを目指して
地域の石工を指導する
重要な役割よ



でもね、やっぱり…
最初は女性である私が
働くことは周りの
理解を得るのが
難しかったです

特に一緒に住んでる
義理の両親は伝統的な
価値観を持っていて…



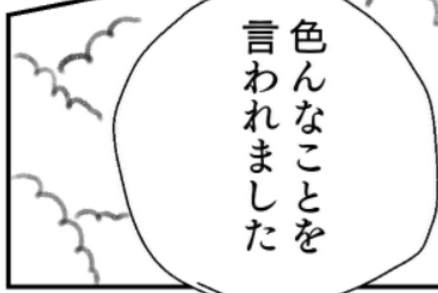
女性が男性と
一緒に働くのは
良くないよ

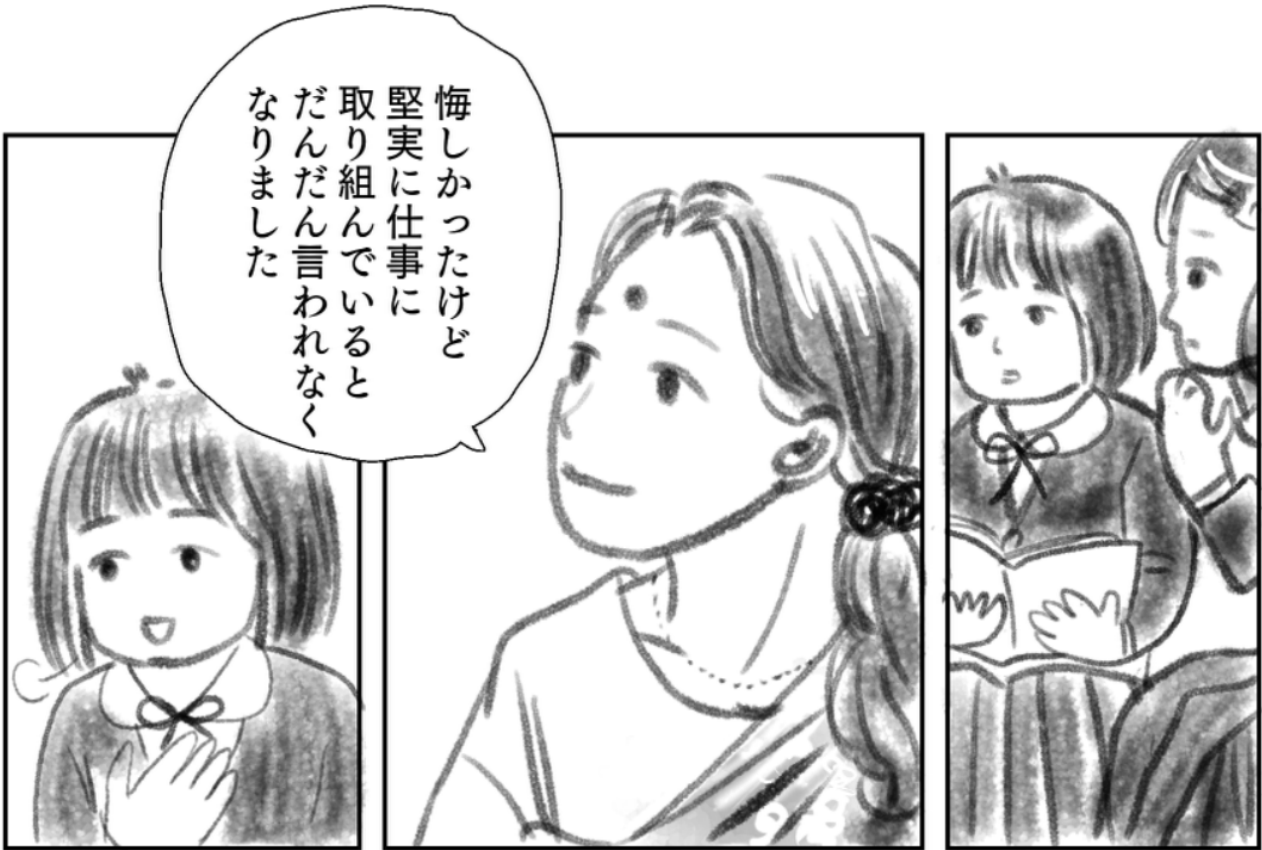
それに



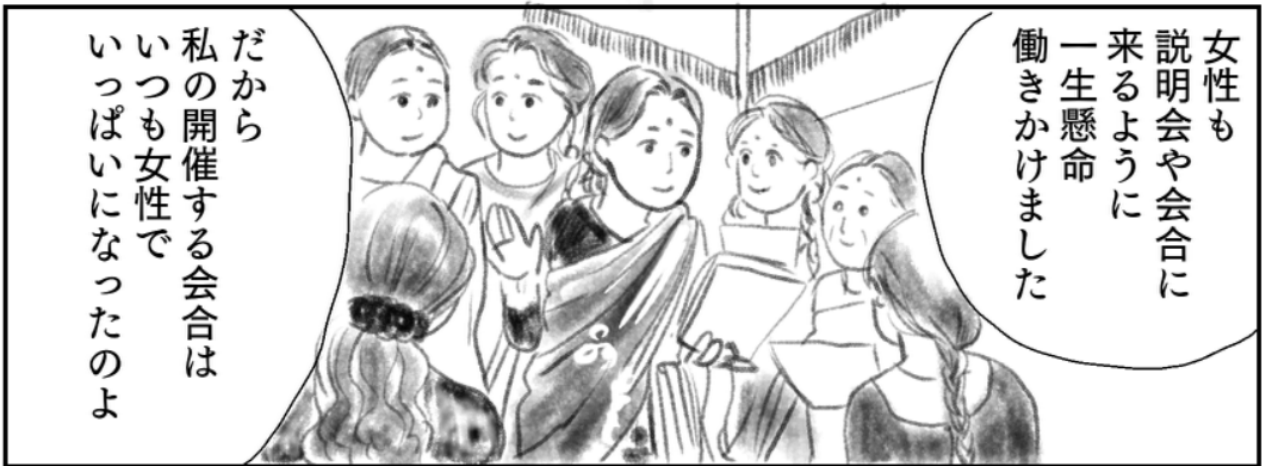
女が男と
同じように
働けるのか？

色んなことを
言われました





悔しかったけど
堅実に仕事に
取り組んでいると
だんだん言われなく
なりました



女性も
説明会や会合に
来るように
一生懸命
働きかけました



一生懸命仕事をしていると
だんだんと私の力量を
たくさんの方で
認めてくれるようになったり
同僚や村人からも
呼ばれて
技術的な
相談も受けるよう
になりました

だから
私の開催する会合は
いつも女性で
いっぱいになったのよ
外に出て夫以外の男性と
一緒に働くのは
ネパールの農村地域では
とても珍しいことだけ



少しずつ夫も
家事を手伝って
くれるように
なりました



明日も仕事だろ
俺がやるから
もう休みなさい



私は地域の
リーダーとして
頼られるようになり
女性グループの
委員長にも
選ばれたの

今では重要な
打ち合わせにも呼ばれ
責任のある立場で
働いているんですよ



外に出て
働くようになって
私は強くなりました

たといひどいことを
言われても：
言い返したり
心を閉ざしたり
するのではなく

どうやって彼らと
向き合うかを
考えるようになったの

自分だけではなく
周りの目も
変わりました

働き出す前は家族や
友人は私のことを
何も知らない
人間だと
思っていたの

けれど今は

仕事においても
人生においても
たかさんのことを
成し遂げられる人間だと
わかってきています

私は懸命に働き
みんなが必要としている
地震に強い家づくり
に貢献しました

この国の人たちの
「女性も石工になれる
という
伝統的な認識を
変えました
変えることが
できるんです

ちゃんと
日本に
伝えてね

あの…

